

わ・和話環で育てる思いやりの心

福井市社中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	16回
地域及び家庭への学校公開	10回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	54人
授業ボランティア（含：低ボラ）	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他（部活動の指導）	2人

(3) 特色ある活動

テーマ 「地域と連携した教育」

具体的な活動内容

①地域行事への中学生の参加

「学校は地域の組織の1つであり、中学生も地域の一員である」。本校はこうした考えのもとに平成22年度から地域行事への生徒の参加を積極的に進めている。PTAをはじめ公民館や地区の社会福祉協議会の方、街づくりに取り組んでいる方の協力をいただきながら、地区のクリーン作戦、敬老会、公民館祭り、地域のビオトープの整備作業、社三地区小学生交流会、ウォークラリー、西部緑道のイルミネーション設置等、本年度は14の地域行事に参加した。生徒会執行部が重点活動の1つとして取り組むとともに、各部活動が「1部活動1ボランティア」を合い言葉に部単位で参加している。また、活動ごとに有志の参加も募った。



地域の方と一緒に清掃活動に取り組む

毎回数十名の生徒が参加するこうした取り組みを重ねることで地域とのつながりが強くなり、学校や中学生が地域住民から温かな目で見守られるようになってきている。その1つの現れとして、毎月20日の一斉あいさつ運動の日には、公民館や社会福祉協議会の方が多数、朝の校門での挨拶に参加して生徒に声をかけてくださっている。また、正月前には地域の方が門松をつくって生徒玄関前に飾ってくださった。2年間の取り組みを経て、地域の重要な戦力として中学生が期待されるようになってきたことを実感している。

なお、本校のこうした取組については、平成24年2月19日に福井市民福社会館で開催された福井市の「第25回三世代合同のつどい」でも発表した。

②地域と連携した理科の授業の実施

授業の充実を図り理科学習への生徒の関心を高めるために、企業の技術者や環境指導員など専門的な知識や技術をもった地域の方をゲストティーチャーとして招き、指導をしていただいた。

成果と課題

地域の様々な活動に出かけ地域住民と交流することで、生徒たちに地域の一員としての意識が高まり、そのことが心の面での健全な成長を促している。また、地域活動の重要な担い手として地域から期待されるとともに、地域から様々な支援を受けることができた。

今後は、明るい地域づくりを進めるためにも挨拶にいっそう力を入れ、登下校時や地域で出会う人に率先して明るい挨拶ができる生徒を育てていきたい。